

## 知的障害教育

《担当者名》今井 常晶 (心) imai@hoku-iryu-u.ac.jp

### 【概要】

知的障害の状態や特性、心身の発達の段階等を踏まえ、具体的な授業場面を想定した指導法を学ぶ。  
また、教育課程が有する意義、編成の方法とカリキュラム・マネジメントの考え方を学ぶ。

### 【学修目標】

知的障害のある生徒の特徴を発達の観点から把握し、適切な指導方法を理解する。  
知的障害を持つ生徒を正しく理解し、適切な関わり方を身につける。  
知的障害の教育における教育課程の意義、編成の方法とカリキュラム・マネジメントを理解する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	特別支援教育のシステムの理解	特別支援教育のシステムとそこでの知的障害の位置付けを理解する。	今井常晶
2	知的障害の理解	知的障害の定義や原因について理解する。	今井常晶
3	知的障害の理解	重症度による行動特徴の違いや合併症について理解する。	今井常晶
4	知的障害の理解	知能検査の実際について理解する。	今井常晶
5	知的障害の理解	定型発達から見た運動面や知覚面の特徴を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
6	知的障害の理解	定型発達から見た情緒面の特徴を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
7	知的障害の理解	定型発達から見た言語面の特徴を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
8	知的障害の理解	定型発達から見た遊びの特徴を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
9	知的障害の理解	定型発達から見た仲間関係（幼児期）と自我の面を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
10	知的障害の理解	定型発達から見た描画や読み書き能力を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
11	知的障害の理解	定型発達から見た思考と仲間関係（児童期）を把握し、指導法についても理解する。	今井常晶
12	教育課程編成の意義と方法	特別支援学校学習指導要領や教育課程、個別支援計画等について理解する。	今井常晶
13	教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントについて理解する。	今井常晶
14	知的障害の指導例	ICTや教材を用いた個別指導について理解する。	今井常晶
15	知的障害の指導例	集団場面での社会性の指導について理解する。	今井常晶

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

レポート課題と授業内での発言の様子を総合して評価する。

### 【教科書】

特になし。毎回資料を配布する。

### 【参考書】

特になし

**【学修の準備】**

授業範囲を予習し、専門用語の意味などを理解しておくこと（予習2時間）  
各回に学んだことを復習しておくこと（復習2時間）

**【免許法施行規則に定める科目区分等】**

「特別支援教育に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目」に該当する。

**【実務経験】**

公認心理師、言語聴覚士、音楽療法士で延べ36年

**【実務経験を活かした教育内容】**

発達障害児への発達支援の臨床経験で出会った事例を適宜紹介する。